

介護サービスを利用するようになって、地域の中で「できること」を生かして働き、誰かの役に立ちたい。そんな願いをかなえ、社会参加を後押しする「働けるデイサービス」が広がり始めています。
(田中文香)

清掃や草むしり

「元気で働けるのは、ありがたいことじゃ」

岡山市のスーパー「コープ西大寺」の駐車場。近くのデイサービス「どんぐりハウス」に通う女性(80)は草むしりをしながら、そう言ってほほえんだ。

水分補給も挟みながら、約30分かけて丁寧に雑草を抜き終わると、デイサービスのスタッフに「きれいになりましたね。お給料もらいに行きましよう」と促され、店内へ。女性は店長の堤厚也さん(48)から「ありがとうございます」と言葉をかけられ、謝礼金の200円を受け取った。

そのまま売場を回り、クリームを挟んだ焼き菓子を買った女性は、「体を動かすことも、甘いものも大好き。買い物ができる楽しい」と満足そうだ。

働くデイサービス じわり

「いつも、草むしりは従業員でやっているが、この時期はすぐに伸びるので助かる」と堤店長。女性が作業中に着けていたエプロンは、従業員とおそろいだ。

岡山市は2021年度に、モデル事業「ハタラク」を始

「地域で役立てる」いきいき



スタッフらとおしゃべりしながら、笑顔で草取りをする「どんぐりハウス」利用者の女性

めた。地域の企業・団体から、清掃やダイレクトメールの投函などの仕事を請け負い、デイサービスの利用者に、主に有償ボランティアの形で取り組んでもらっている。

社会への参加を促し、心身の機能や意欲の維持・向上につながるのがねらいだ。現在、

市内のデイサービス3事業所が実施中で、ほかに、2事業所が準備を進めている。

「どんぐりハウス」では、歩くことが好きな人には、地域内を散歩しながらダイレクトメールを投函してもらい、庭仕事が得意な人には草むしりをしてもらうなど、その人

の「やりたいこと」や「できること」に合わせて取り入れている。

スタッフが必ず付き添っているが、日常のケアの一環として行っていて、大きな負担はないという。

「どんぐりハウス」管理者の早見満暁さん(53)は「ご本人が『自分でできること』、地域で役立てることがある」と感じ、いきいきとしている姿は、見ていてうれしい。認知症の進行の抑制にもつながると期待している」と話す。

同市では、高齢で介護が必要になった人が、まだまだ地域の中で何かの役割を担うことができるのに、社会参加を諦めてしまいがちな状況を変えたいと、「ハタラク」を始めたという。

市医療福祉戦略室の江田大輔室長は「企業・団体にこの事業への理解を広め、介護事業所にも参加を呼びかけて、もっと多くの人が地域で活躍できるようにしていきたい」と話している。